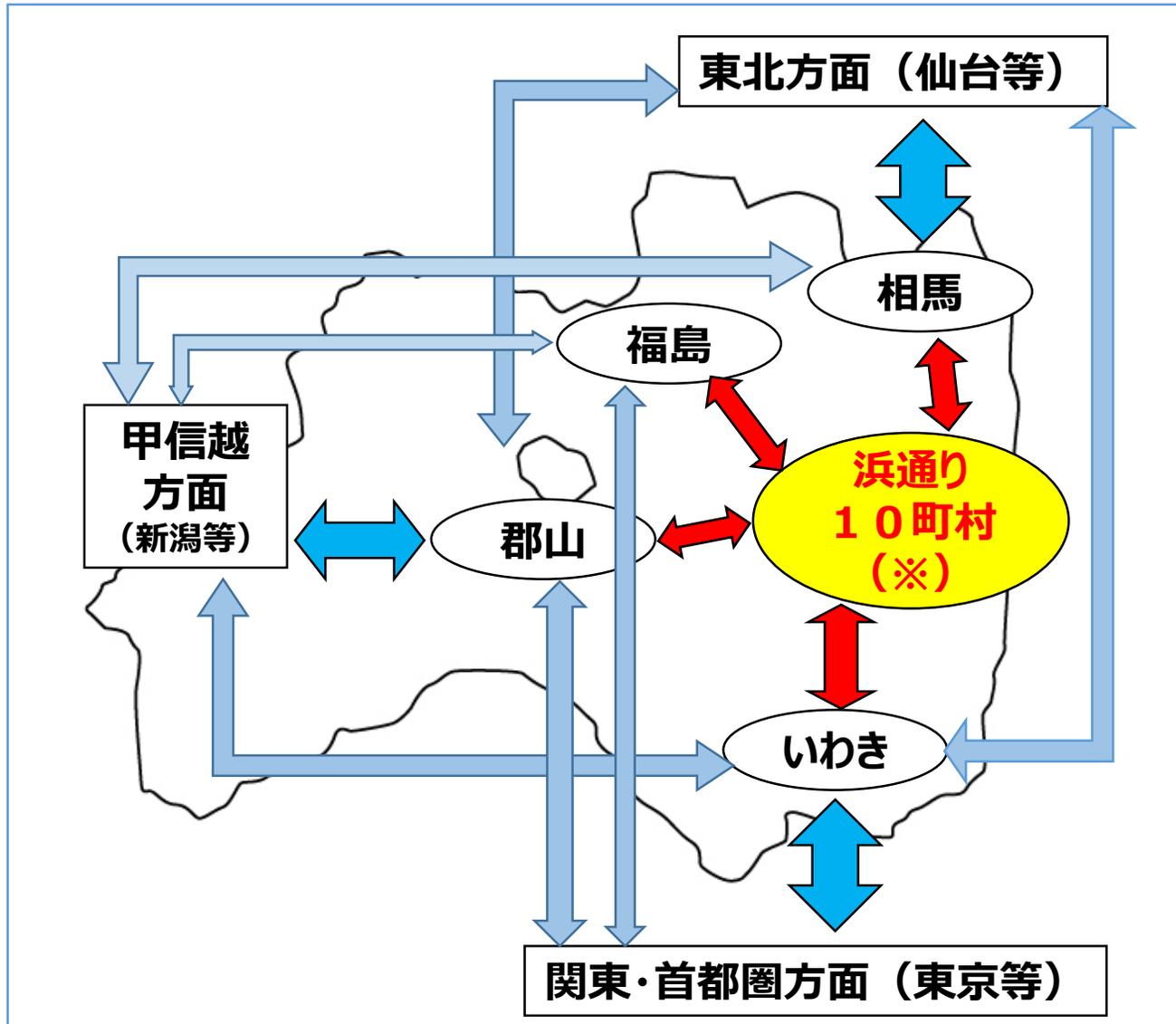


物流事業者間の連携の方向性と目指すべきゴール

【浜通り地域の物流イメージ】



【目指すべきゴール】

＜目指すべきゴール（到達目標）＞

- 大口の荷物の集配送サービスが十分に回復していない10町村において、他地域と同水準のサービス（日時指定や荷物の種類の制限なし）・料金での集配送を行うことを可能とする。

＜検討の方向性＞

- これまでの打ち合わせやヒアリング結果も踏まえ、
 - ① 全国から福島県内の各大手物流事業拠点までは大手物流事業者による輸配送
 - ② 各大手物流事業拠点から浜通り地域の物流機能未回復エリアまでは地元物流事業者による集配送という形での新たな連携モデルを構築してはどうか。
- 上記連携モデルを関係者に示し、大手・地元物流事業者が一同に介して議論を行う場や地元物流事業者も巻き込んだ形での連携の検討を進めていってはどうか。

(※) 浜通り10町村とは、主に大口貨物でサービスが十分に回復していない双葉町、大熊町、浪江町、富岡町、葛尾村、川内村、楡葉町、飯舘村、川俣町、広野町を指す。